

事務事業 No./名 称	■サービス部門 □支援部門 都整-10 道路維持補修事業									
主管課	道路課				関連課					
分野名	道路整備									
目標 (目標値)	市民等の安全性、利便性を確保する。									
人口等のデータ	データ区分	25年度		24年度		23年度		備 考		
	人 口	177,895人		177,224人		177,204人		・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世 帯 数	80,295世帯		79,669世帯		79,217世帯				
	事業の対象者数									
運営資源状況	決算値(千円)	153,398		166,620		121,378		平成26年度、道路 課人件費: 8,347,624円		
	(国・県)	3,095				8,044				
	(負担金等)									
	(一般財源)	150,303		166,620		113,334				
	人員配置数	2.1人		2.4人		2.4人				
	人 件 費(千円)	17,530		20,049		21,419				
	協働のパートナー									
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	170,928		186,669		142,797				
	市民1人当りの経費(円)	961		1,053		806				
	対象者1人当りの経費(円)									
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒									
指 標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)			
道路維持補修事業の達成率	○	目標値								
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値								

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
道路維持補修事業	153,398	道路維持補修事業	125,944	今後の 方向性	A	理由 ・手法	安全で円滑な交通環境を確保し、交通事故防止や スクールゾーンの安全対策を図るため、道路の維 持補修を行う。
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	市内の道路は、整備後相当年数が経過しているため、舗装状態が悪く、市民から補修要望が多く寄せられる。また、内容も多岐に渡るため、その対応が難しい。											
課題解決のための取組	市民からの要望内容及び状況に応じるため、作業センターと連携を図り、有効かつ効率的な対応を行った。							取組の結果	□解 決 ■未解決			
未解決の課題	市民からの道路に関する補修要望は多く、内容も多岐にわたる。また、抜本的な改修が必要とされる箇所が多く、対応に数年を要することになる。											
中事業の評価	適切＝○要改善＝△(2面「評価の視点」を参照)				①効率性 ○		②妥当性 ○		③有効性 ○		④公平性 ○	
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	平成24年度に策定した道路舗装修繕計画に基づき、維持補修について優先順位を定め、計画的な舗装修繕に努める。また、作業センター、他企業との連携をより強化し、有効かつ効率的な対応を図る。							A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止		A		
								※□事業完了				

評価者名

道路課担当課長

森 明彦

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△					
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性		
道路維持補修道路	道路の維持補修を行い、安全で円滑な交通を確保し、事故防止に努めるとともに、スクールゾーンの安全対策を実施した。大町三丁目11番先(市道006-044号線)の法面の安全を確保するための現況測量調査を行った。山ノ内557番1の洞門山の隧道の健全度調査を行った。北鎌倉トンネル改修設計等業務委託については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。前年度からの繰越明許費により、トンネル点検業務委託を行った。市道042-027号線外については、平成26年2月に発生した大雪により、材料の納入が大幅に遅れたため、翌年度へ繰越しを行った。前年度から事故繰越しした市道003-032号線の道路維持修繕工事を行った。前年度から事故繰越しした市道003-033号線の道路維持修繕工事を行った。				○	○	○	○		
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
		331	道路維持修繕料	}	6,180	14,966	○	○	○	○
		331	崩落土砂処分等業務委託料		10,000	14,374	○	○	○	○
		331	除雪等業務委託料			12,526	○	○	○	○
		331	測量調査業務委託料		2,500	998	○	○	○	○
		331	隧道健全度調査業務委託料	3,500	3,465	○	○	○	○	
		331	トンネル点検業務委託料(前年度からの繰越明許費)	0	7,056	○	○	○	○	
	331	北鎌倉トンネル改修設計等業務委託料(翌年度への繰越明許費)	0	8,420	○	○	○	○		
331	道路維持修繕工事	135,500	91,593	○	○	○	○			
※□ 事業完了										
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△					
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性		
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	※□ 事業完了									
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△					
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性		
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	※□ 事業完了									
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△					
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性		
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	※□ 事業完了									